

(広報資料)

平成23年5月23日
文化市民局
〔文化芸術都市推進室〕
文化芸術企画課 TEL 366-0033

「京都会館再整備基本計画案」の策定について

京都市では、昭和35年4月の建設以来、50年以上にわたり京都の「文化の殿堂」として市民の皆様にご愛されてきた京都会館を、今日的な利用ニーズに適合するよう全面的な再整備に向けた調査及び検討を進めてきました。

この度、京都会館の再整備に関する考え方をまとめた「京都会館再整備基本計画案」を策定しましたので、お知らせします。

1 構成

- I 京都会館の現状と再整備に向けた課題の整理
- II 京都会館の再整備に向けた考え方
- III 再整備計画（案）
- IV 事業化・運営に係る計画
- V 今後の進め方と課題

2 基本計画までの取組

平成14年度 消防局防災基盤整備事業に基づく耐震調査の実施

平成15年度 過去の改修履歴の整理及び第1ホール、第2ホール、楽屋及び会議棟ごとの課題を整理

平成16年度 施設の劣化調査

平成17年度～平成18年度

京都会館再整備検討委員会による再整備に向けた検討

平成19年度

- ・ 立命館大学大学院政策科学研究科と共同で京都会館再整備基本構想策定に係る市民アンケート調査を実施
- ・ 京都会館機能改善可能性調査の実施

平成20年度 プロモーターを対象とした施設利用上のニーズ調査の実施

平成21年度 基本計画案策定に向けて現況・課題の整理や考え方の検討を行い、基本構想素案を作成

3 再整備の基本方針

- (1) 既存の建物価値を継承し、公共ホールとして建物を再生
- (2) 「文化の殿堂」として多様な利用ニーズに応えられる機能の向上
- (3) 岡崎地域の活性化や魅力の向上・創出を牽引する機能導入や環境整備
- (4) 民間活力の導入と適切なマネジメントの展開

4 再整備の方向性

第1ホールの一部を増築し、他は全面改修する案（改修案A）と第1ホールはすべて建て替え、他は全面改修する案（改修案B）について比較検討を行い、改修案Bを再整備の方向性としました。

5 事業手法

厳しい財政状況の中、できるだけ少ない財政負担で効率的に事業を進めていく必要があるため、現時点では最も閉館期間が短くできると考えられる設計施工一括方式（デザイン・ビルド方式）を見込んでいます。

6 今後の予定

平成23年度 基本設計

平成24年度以降 第1ホール解体、埋蔵文化財調査、実施設計及び工事着手等

なお、平成24年3月31日をもって現在の京都会館のすべての施設を一旦閉鎖することとし、平成24年4月1日以降の利用予約を中止します。

再整備後の新たな予約の受付開始時期については、再整備事業の進捗よく状況を見て適切な時期に改めてお知らせします。